



モンゴル赤十字社保健支援事業

対象国・地域	モンゴル
事業概要 (経緯・背景)	<p>モンゴルは「東アジア地域」に属する内陸国です。一般に、大草原や遊牧民といった牧歌的なイメージがありますが、近年は気候変動の影響により、極端な冷害や雪害が発生。冷害により 18 万世帯が被災し、モンゴルの全ての家畜の 10%にのぼる 600 万頭もの家畜が死去するなどの災害に見舞われています。一方で、夏には干ばつや砂嵐、豪雨災害が発生し、この 20 年間で災害発生件数は 2 倍に増加しています。困窮・孤立する人々への支援と気象災害への対応は、同国の優先的課題ですが、経済不況による貧困、へき地での医療サービスの不足等により、特に遊牧民等の社会的脆弱者層のいのちと健康が脅かされています。</p> <p>こうした状況を踏まえ、日赤は 2024 年 4 月からモンゴル赤十字社（以下、モンゴル赤）が主体となって行う 3 カ年の事業を開始しました。本事業は、救急法及びこころのケアの体制づくりに協力し、人々の健康増進寄与に取り組めます。</p>
事業期間	2024 年 4 月 1 日～2027 年 6 月 30 日（3 カ年事業）
場所・対象	<p>モンゴル ウランバートル他</p> 
目的 (上位目標)	<p>モンゴル赤にある 33 支部での救急法講習とサービス能力の強化により、人々の健康・福祉が向上する。 また、職員・ボランティアを対象とした精神保健・心理社会的支援の研修カリキュラム及び緊急時等サービスが確立する。</p>
事業目標	<p>目標 1 救急法のトレーニングとサービスの能力を強化する。 目標 2 精神保健・心理社会的支援に関するトレーニングとサービスの構造とカリキュラムを確立する。</p>
成果	<p>成果 1. 1 モンゴル赤の救急法インストラクター及びボランティアは、救急法トレーニングとプロモーションを拡大するために、救急法資機材や救急法アイテムに簡単にアクセスできる。 成果 1. 2 モンゴル赤インストラクターは、一般向け救急法トレーニングを提供するための知識と能力が向上する。 成果 1. 3 モンゴル赤のモニタリングと報告の実践が強化される。 成果 2. 1 モンゴル赤スタッフとボランティアはこころのケアガイドラインにアクセスできる。</p>
活動内容	<p>1. 救急法講習 ・AED トレーナー、救急法セット、マネキン等の教材を拡充</p>

	<p>2. 救急法ガイドライン、教本の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際赤十字・赤新月社連盟が発行するガイドラインに準拠したガイドライン及び指導マニュアルの整備</li> </ul> <p>3. 救急法指導員の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導員養成や指導員向けリフレッシュ研修の実施、救急法コンテストの開催</li> </ul> <p>4. 定期モニタリングの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急法指導員会議、年1回のモニタリング評価の実施</li> </ul> <p>5. 精神保健・心理社会的支援研修モジュールのローカライズ及び指導員研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員、ボランティア向けの精神保健・心理社会的支援研修のカリキュラム及び教材の整備</li> </ul>
事業費総額	40,000 千円
写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「ゾド」と呼ばれる冷害の影響により家畜被害を受けるモンゴル©MRCS</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>研修センターにおいて精神保健・心理社会的支援の研修を受ける支部担当職員©MRCS</p> </div> </div>